Selp-Sasayuri News
ささゆりだより

第 160 号　2025年 4 月 11 日発行　発行責任者：社会福祉法人清光会　ささゆり作業所　高道　雄治

【生産活動協力会社】

- ㈱東進・伊澤タオル・㈱フタバ
- 馬場谷タオル㈲・丸十タオル㈲
- ㈱ナストーコーポレーション
- ㈱エリー・神藤織物㈱・曽我㈱
- サンタ通商㈱・西本タオル㈱
- エル・チャレンジ・広洋物産㈱
- ㈲プレスコート・㈱万雄
- ㈲射手矢商事・㈲おはなやさん稟
- ㈲丸繁・原花店・高松商店
- ㈱サワショウ・リコズ・ワールド
- ㈱丸中・㈱スミシン・重光商事㈱
- 富士産業㈲・堺商店・岸商店
- 小杉善㈱
- 障がい者自立支援センターほっぷ
- 清光会・和泉の里

6月・7月の主な行事

6月

3日（火）採血・心電図　1、4班
5日（木）防災訓練
10日（火）採血・心電図　2、3班
17日（火）エンゼルの会
20日（金）クラブ活動
21日（土）ダンス活動絆
23日（月）レントゲン
26日（木）内科健診　1・4班
※1・3班の調理実習を予定しています

7月

2日（水）2・3班内科健診
15日（火）エンゼルの会
18日（金）クラブ活動
19日（土）ダンス活動絆
※かき氷イベントを予定しています

編集後記

3月の終わりに山々が桜色に染まり、例年より早い春の訪れを感じました。
厳しい寒い時期を超えてつぼみが育ち、やっと花開いた桜を眺めていると、ほっとする様な、それでいて少しさみしい気持ちになります。
4月から新年度が始まりました。ささゆりだよりの編集チームも一部変更となりましたが、皆様がささゆりだよりを見て笑顔の花が咲き誇る様な、そんな広報誌を目指していきたいと考えています。今後とも、よろしくお願い致します。

支援課　森本　結

ほっと一息コーナー

今年は大阪万博が開催されますね。4月13日から10月13日まで夢洲での開催となります。日本初の開催も1970年の大阪万博でした。大阪での開催は55年ぶり、前回の愛知万博から20年ぶりとなります。海外のパビリオンは47か国完成予定で注目の一つです。私個人的にはオーストリア館に行ってみたいです。コンセプトは「音楽」。建物外観からして、音符の形。テーマも「未来を〈作曲〉する」。来場者はAIを使った作曲体験ができ、館内のピアノをオーストリアから遠隔演奏されるそうです。またとない機会ですので是非世界各国の文化や技術に触れてみてはいかがでしょうか？

支援課　児玉　和也

より良い広報誌を目指すため、ささゆりだよりについての意見や要望を随時募集しています。あんなことが知りたい、こんなことが載っていると役に立つ等、皆様のご意見をお寄せ下さい。

＊ 編集委員：　近藤　数馬・森本　結・児玉　和也・西　智恵
〒598-0022 大阪府 泉佐野市 土丸904番地　TEL 072-459-7024
FAX 072-459-7350

令和6年度を振り返って

平素はささゆり作業所の運営にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、令和6年度報酬改定により作業時間を延長して、一年が経とうとしています。その中で、嬉しい変化が見られました。作業時間が延長になったことで、一日の作業量が増え、ご利用者への分配金にも還元することができ、令和6年度の就労継続支援Ｂ型事業の平均分配金がひと月約3,000円程度向上しました。ディーセントワークを取り入れることで、豊かな暮らしに繋がるということが実現されつつあります。働いた対価として得られるものが増えるということは、ご利用者の皆様にとって働く喜びに繋がっているのではないでしょうか。

先日、家族会の新しい企画として親睦会を実施しました。その際にあるご家族様より、「年度末の賞与が増えたことで本人がやる気になっている。」とのお話を伺いました。こういったお話を耳にすることが私たち支援員の大きなやりがいになります。また、令和7年10月より、就労選択支援制度が施行されます。「就労選択支援」とは、就労アセスメントの手法を活用し、障がいのある人が本人の希望や適性に合った仕事を選択できるように支援するサービスです。障がいのある人の多様な就労ニーズに対する支援、及び障害者雇用の質の向上の推進を目的としています。施設に求められるスキルとして、定められた期間内で就労に関する適性、知識及び能力の評価並びにご利用者の就労に対する意向等の整理、地域の障害者雇用の実態や地域にある就労系のサービスを把握しており、既に就労アセスメントの手法を獲得している等が挙げられます。当作業所でも新たな事業として取り組んでいきたいと考えています。これには地域との繋がりが重要となってくるのです。

今後は地域貢献として、地域との繋がりを広げ、地域から選ばれる施設作りを目指します。ささゆり作業所は活気ある楽しい「はたらく」を提供できるよう、引き続き、職員一同一丸となり、ディーセントワークの実現に向けて努力して参りますので、皆様からの温かいご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

支援課　課長　川村　智子